

令和 8（2026）年度 滋賀文教短期大学 ティーチング・ポートフォリオ

記入日	年度当初 7 月 1 日 / 年度末 3 月 日
氏名	福田 豊子
子ども学科	准教授
学科以外の兼務職	

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の 5 つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会や FD 委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

1. 責務（何を行っているのか）

①担当科目

担当科目名	学科	学年
家庭科概論	子ども学科	2 年
家庭科指導法	子ども学科	2 年

②担任制度

担任（2 年生）	無
----------	---

③委員会活動

運営協議会		SD 委員会	
研究倫理委員会		地域連携委員会	
危機管理委員会		入学者選抜委員会	
自己点検・評価委員会		広報委員会	
認証評価準備委員会		高大接続・連携委員会	
図書委員会	委員	保育・教育実習運営委員会	委員
学生委員会		ハラスメント防止委員会	
障害学生支援・学生サポートセンター運営 WG		教員資格審査委員会	
キャリア支援委員会		教員採用選考委員会	
教務委員会		湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD 委員会	委員	授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会		紀要編集委員会	
学生調査委員会		教職実践演習運営委員会	
教学調査委員会		学長推薦選考委員会	
不正調査委員会		衛生委員会	

④実習業務

保育実習部会長		小学校部会長	
幼稚園実習部会長		子ども学科 実習事務	

⑤外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	無
助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額（期間中合計）	
研究課題	
備考（分担者等）	

2. 理念（どのような考えに基づいて行っているのか）

教育理念	学園創設者松本富士之助「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・目標	【子ども学科】 幅広い知見と豊かな教養を備え、子どもに関わる専門的な知識・技能と実践力を修得し向上心をもって保育・教育の分野に広く携わることのできる人材の育成
個人の教育理念・目標	「生きる力」の中核である「学びに向かう力、人間性等」を育むための具体的な方法として、家庭科教育（家政学・生活科学）を位置付けている。中でも食材の命に気づくための食育は、学生の人間性涵養に資すると考えられる。体験格差が広がる現代において、自然体験・生活体験・お手伝いの多い子どもほど自己肯定感が高く、正義感・道徳観も強い。授業の中でそれらの機会を提供し、学生の「センス・オブ・ワンダー」（生命や自然の不思議に驚く感性）を磨くことを目標とする。

3. 方法（その考えをどうやって実現しているか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

4. 成果（その方法を行った結果、どうだったか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

5. 目標（今後どうするか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

6. 記載内容に関する根拠資料

- | | | |
|--------------|----------|-----------|
| ①令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | シラバス |
| ②令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 科目別成績分布状況 |
| ③令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 担任一覧表 |
| ④令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 委員会構成名簿 |
| ⑤令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 組織図 |

以上